

**愛知**

2015年1月19日

**大地震想定し避難訓練 港区のイオン茶屋店**

大地震により津波が発生した場合の避難訓練が十八日、名古屋市港区西茶屋二のイオンモール名古屋茶屋店で初めて実施された。

午前八時半に東海沖を震源とする震度6強の地震が発生し、伊勢湾、三河湾に大津波警報が発令されたという想定。従業員や地域の住民、消防団員ら約三百五十人が参加した。

地震発生のアナウンスが流れると、参加者は買い物かごを頭にかぶって落下物から身を守る動きをした。従業員の誘導で屋外の駐車場に避難し、津波から逃れるため店舗屋上の駐車場に通じる車両用のスロープを歩いて上った。その後、店の二階へ移動し、自分の名前や住んでいる地区を避難者カードに書き込んだ。

イオントリーデル東海・長野カンパニー名古屋事業部の丸田茂部長（62）は「当店では早朝など開店時間外でも、外のスロープを使って屋上へ行くことができる。もし津波が起きたら利用してほしい」と話した。



駐車場のスロープを歩いて屋上へ逃げる訓練をする人たち＝名古屋市港区のイオンモール名古屋茶屋店で

イオンと名古屋市は昨年十月、津波発生時に市民の一時避難場所として利用する協定を締結。十八日は同区品川町のイオンモール名古屋みなと店、同区春田町のイオン南陽店でも同様の避難訓練が実施された。

(堀井聰子)



地震を想定し、店内で買い物かごをかぶる訓練をする人たち＝名古屋市港区のイオンモール名古屋茶屋店で